

地球から宇宙へ 宇宙から地球へ

開催日 : 令和4年6月11日 (土)

開催時間 : 9:30 - 12:00

開催方法 : オンライン (要事前登録)

ご登録は
こちらから→



1.はじめに 09:30 -

2.ご講演 (座長: 田島健次) 09:35 -

北海道大学 大学院工学研究院 永田 晴紀 教授

「相乗り小型宇宙機用
ハイブリッドキックモーターの開発」

北海道大学 大学院理学研究院 高橋 幸弘 教授

「北大超小型衛星が拓く新しい宇宙利用」

3.プロジェクト紹介 (座長: 今井友也) 11:30 -

北海道大学 大学院工学研究院 田島 健次 准教授

「生体触媒 (酵素・菌体) を使った
モノづくり」

4.閉会挨拶 11:55 -

東京大学 大学院農学生命科学研究科 五十嵐圭日子 教授

演者紹介 永田 晴紀 (ながた はるのり)

1994年、東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻博士課程修了、博士 (工学)。1996年、北海道大学宇宙環境システム工学研究室、助教授。2006年より教授。2020年6月、ハイブリッドキックモーターの事業化を目指して卒業生らと共に Letara (レタラ) (株) を設立。

田島 健次 (たじま けんじ)

1993年日本学術振興会特別研究員DC1、1995年北海道大学大学院工学研究科博士課程中退、1995年北海道大学工学部助手、2002年北海道大学大学院工学研究科助教授、2010年北海道大学大学院工学研究科准教授、微生物におけるセルロース合成機構の解明、バクテリアセルロースの量産化と応用に関する研究を長年行っている。

高橋 幸弘 (たかはし ゆきひろ)

1991-93年、日本南極地域観測隊に参加 (東北大学大学院理学研究院博士課程1年時)、昭和基地でオーロラ観測を行う。1995年、中層・超高層放電現象 (スプライトなど) の研究を開始、2009年、その観測のための超小型衛星を開発、打ち上げ。6機の北大衛星プロジェクトを牽引。フィリピン、ミャンマー両国が開発する初の衛星を、留学生とともに開発、運用し、フィリピン宇宙庁の設立に貢献。東南アジアの途上国を中心としたアジア・マイクロサテライト・コンソーシアムを立ち上げ、学術とビジネス両面で世界をリードできる新しい宇宙利用を目指している。

【問合せ先】宇宙連携拠点形成プログラム事務局
info@spacecellulose.jp

